

**夏秋トマト栽培における放射状裂果の発生に関する研究
(第2報) 灌水方法および整枝法の違いがトマト放射状裂果発生に及ぼす影響**
鈴木隆志・柳瀬関三

Studies on radial fruit cracking in summer and fall tomato plants
2. Effects of irrigation pattern and training system on radial fruit cracking in tomato
園学雑 73 別 2 (2004)

夏秋トマト栽培で問題となっている放射状裂果発生要因は、古くから研究がされてきたが、主因が明確でなく十分な対策がとられていないのが現状である。

今回、灌水方法や整枝法の違いの影響を検討した結果、土壌水分の変化の影響は少なく、茎葉や果実に日射が当たりやすい条件で発生しやすいことが確認された。

**エゴマの栽培機械化に関する研究
(第1報) 収穫と選別**

鍵谷俊樹

Studies on a through process by automation in Egoma, *Perilla frutescens* var. japonica
作物学会東海支部第 135 回講演会要旨 8(2004)

飛騨地域では、特産作物「エゴマ」(地方名アブラエ)の栽培が盛んで、主に自家用に利用されているが、飛騨市では搾油し提供し市民の健康に役立てようとする動きが始まっている。しかしエゴマの栽培のほとんどが手作業によるため、栽培面積の拡大が困難であった。このため機械化栽培のためのコンバイン収穫や精選作業について検討した。

その結果、K社製麦ソバ専用コンバインを用いた結果、収穫ロス率はソバより低めであったため、機械化収穫の可能性が示唆された。また精選機を試作して精度を検討した結果、ガク等夾雑物が除去できたため、栽培の機械化の可能性が認められた。

陶磁器鑄型磨石こうの施用がダイズの生育等に及ぼす影響

鍵谷俊樹

Effects of application with gypsum molds to soybean

作物学会第 218 回講演会要旨 10(2004)

ダイズ品種「タチナガハ」に、石こう鑄型粉碎物を 10 kg/a 施用した結果、主茎長が短くなり倒伏程度が軽減された。また莢の裂莢性の強さを示す抗裂莢力をプッシュプルゲージで測定した結果、磨石こうを施用することで無処理に比べ高い値を示した。この時莢の水分が高かったため、莢水分の保持がその要因と推測された。

このことから、磨石こうをダイズ栽培に利用することで、莢が割れることによる、収穫ロスが減らせる可能性が示唆された。

岐阜県飛騨地域におけるモモ障害樹発生要因の解析

3. 台木品種の違いが「白鳳」の生育期に及ぼす影響

神尾真司・杉浦俊彦*・宮本善秋(*農研機構本部)

Analysis of the generating factor of the injury on peach trees in the Hida area Gifu Prefecture

3. Effects of rootstocks on growing period of peach 'Hakuho'

園芸学会東海支部(学会発表要旨): 園学雑(74)別 1.523(2004)

異なる台木品種に接ぎ木した「白鳳」を加温栽培し、葉芽・花芽発芽率、開花率および収穫期を調査し、台木品種が穂木品種の生育期に及ぼす影響について検討した。その結果、加温開始後、いずれも正常に発芽、開花し収穫できた。花芽の発芽日、開花開始日および満開期および収穫期は、「おはつもも」台がやや早い傾向であったが、供試樹間にばらつきがあり有意な差ではなかった。以上の結果から、異なる台木品種に接ぎ木した「白鳳」を厳寒期の1月上旬に加温してもその後の生育期には有意な差は認められなかった。しかし、浅野らが「白鳳」の皮層部の糖濃度に台木品種差があると報告している(園学雑 72 別 2)、樹体内に変化があると考えられ、今後、根の伸長開始時期について調査し、台木品種が穂木品種に及ぼす影響を検討する。